

浦山で防災活動 町内防災マップをつくり意見交換

6月9日(金)浦山自治会館にて、災害時の支援や日頃の見守り活動について考える活動が行われました。

《取組の内容》

まずは、住宅地図を見ながら、町内の危険個所と一時避難場所を確認。そのうえで災害時避難行動要支援者として登録している方々や、救急医療情報キットを設置している方々の情報共有をおこないました。

《意見交換》

日中と夜間では避難支援できる人が異なる。日中と夜間では分けて考えるとよいかも。しれない。

家族同居でも日中一人暮らしという高齢者は多い。

緊急時、迅速な対応につながるよう、必要な情報をまとめておく救急医療情報キットの設置が必要かも。

災害の予兆に普段から気を配っていく必要がある。(音・においなど)



いざというとき、班など近隣同士で声掛けや助け合いは可能だろうか？

《参加者の感想》

- ・班長会や田んぼの整備で住民同士が顔を合わせるときに、活動を周知する機会をもち、住民の意識を高めたい。
- ・水害があった地域とそうでないところ、地域によって危機感の差はあると思う。
- ・避難支援や見守りについて、地域で考えなければならないということだと思いが、今後、細かいところまで進めていけるようバックアップがあると良い。



支え合い通信に関するお問い合わせ先

社会福祉法人 大館市社会福祉事業団
ケアプランセンターおおたき ☎ 0186-47-7222
担当：生活支援コーディネーター 市村(いちむら)

支え合い通信閲覧のQRコード

